



息を吹きかけて動く彫刻に興味津々

隔年で開催している洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2005（同実施委員会主催）が、九月二十三日、総合センターを会場に開幕しました。

六十二万六千六百点の応募作品の中から一次審査を通過した六十点の作品が展示されており、テープカット後、受賞者をはじめ関係者、村民の皆さんが多数入場し、彫刻作品を鑑賞しました。

この後、受賞者全員の出席をいただき、総合センター前庭で授賞式を行い、賞状等が手渡されました。

その後、祝賀会に移り地元食材を使用した料理や各種のアトラクションで開幕を祝いました。

ビエンナーレ2005は、十月二十三日まで毎日開かれていますので、さらに多くの村民の皆さんが来場され、それぞれの視点で作品を鑑賞し楽しんでいただきたいと思います。

洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2005 展覧会開催



ビエンナーレ展のテープカットを行う関係者

九月二十三日、午前十一時、洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2005展覧会が、関係者のテープカットによりオープンしました。

テープカット後には、大賞をはじめ受賞者の皆さんや関係者、村民の皆さんが展覧会場に入り、世界中から集った第一次審査を通過した六十点の秀作をゆつくりと鑑賞していただきました。



大賞を受賞したキフ・パネットさん

実施委員長の菊地村長は、「二十カ国六十点の作品の内なる声を感じ取ってくれると幸いです。芸術に親しむ村として将来の可能性を秘めた子どもたちの作品もロビーに展示しており、鑑賞していただきたい。」とあいさつしました。

彫刻家への発想は出てこない。ビエンナーレは村のステータスシンボルとして、現在の彫刻の姿をいち早く全国に紹介する仕事をしてきた。新町になっても続いていくというのですが当然だと思います。」と話されました。



洞爺村の子どもたちが作成した石の彫刻が並ぶ

続いて、笹野審査委員長から講評があり、「具象回帰の傾向が見られ具象作品が多く時代を映している。多文化の世界の心を見せてくれていたと思います。大賞のトラベラーワールドについては、日本の

さらに、横内胆振副支庁長、神戸北海道議会議員などから祝辞をいただきました。

その後、受賞者一人ひとりに壇上で賞状等が手渡され、見守る関係者や村民の皆さんから温かい拍手が送られてい

ました。

また、この後祝賀会に入り
地元の食材を使用したメニューの料理と合唄、獅子舞よさこい、野点、もちつきなどのアトラクションで一層盛り上がり、ビエンナーレ2005

の初日を祝い、終了しました。
なお、開催期間は十月二十三日までで、開館時間は平日・日曜日・祝日は午前十時から午後四時三十分まで、土曜日は、午前十時から午後八時までとなっています。



受賞者と関係者がいっしょに記念撮影

キフ・パネットさんを囲み座談会開催

ビエンナーレに対する村民の皆さんの理解や関心を深めたいとの思いから九月二十四日、総合センターにおいて、ビエンナーレ2005の大賞受賞者を囲む座談会が、今回初めて行われました。

キフ・パネットさんは、集まった村民の皆さんからの、いろいろな質問に対し、通訳を通して丁寧に答え、互いに理解し合うよい機会となりました。

今回の制作の動機や作品について、「宇宙というテーマが自分のテーマと合っていたから」、「銅で大きく作るとすばらしいと思ったがルールに合わせた」、「他の作品がすばらしいのは分かっているので大賞を取れる自信は全くなかった」、「作品を送ったときは娘のように思っていたので悲しかったが、作品をみて嬉しかった」などと話されていました。



キフ・パネットさんを囲む座談会

キフ・パネットさんとお絵かき

洞爺保育所

九月二十六日、洞爺保育所ではビエンナーレ大賞受賞者のキフ・パネットさんを講師に迎え、お絵かき会を行いました。

子どもたちは、思い思いに好きな絵を書いていましたが、先生が「キフ・パネットさんに絵を書いてもらいたい人、



キフ・パネットさんに「木」の絵を書いてもらう

手を上げてください」と聞くと、元気よく手を上げ、自分の書いてもらいたい木や動物、昆虫などリクエストしていました。

また、キフ・パネットさんに質問のコーナーでは、子どもたちならではのユニークな質問に、一つひとつ丁寧に答えました。

合併に伴う電算システム・ネットワーク統合整備負担金など補正予算を原案どおり可決

第三回洞爺村議会定例会が、九月十四日に開かれました。会期を一日と決めた後、村長、教育長から行政報告、五十嵐議員と高橋議員より一般質問があったほか、一般会計補正予算などの議案九件について審議し、平成十六年度洞爺村各会計歳入歳出決算認定についての議案が継続審査となり、議案八件は原案どおり可決、同意されました。



第三回村議会定例会での一般質問

とになります。

なお、この処分は、平成十八年三月二十七日からその効力を生ずるものです。

村長行政報告

▽洞爺村及び虻田町の廃置分合の告示について

平成十八年三月二十七日から洞爺村及び虻田町を廃し、その区域をもって新たに「洞爺湖町」を設置する旨の北海道知事からの総務大臣への届出がなされ、平成十七年八月十九日、総務大臣による「町村の廃置分合」の官報告示がなされました。

これにより、法律に基づくすべての手続きが完了し、平成十八年三月二十七日に「洞爺湖町」が正式に誕生すること

▽道道整備並びにまちづくり交付金に係る洞爺村単独要望活動の実施について

本村の重要な課題であります

標記の解決に向け、去る九月八日胆振支庁（室蘭土木現業所、同洞爺出張所を含む）及び環境省自然環境局洞爺湖

自然保護官事務所に洞爺村単独要望活動を行って参りましたので、ご報告申し上げます。

当日の要望会は、洞爺村における合併後の重要課題についての要望であり、次の項目を要望して参りました。

道道洞爺虻田線（洞爺湖ぐらっと一周西廻り線）の早期整備

道道豊浦洞爺線（洞爺村市街地区間）の交通安全施設（湖側の自歩道の事業推進洞爺村市街地区のまちづくり交付金事業の採択と事業の推進

の三点を最重要項目として、胆振支庁長をはじめ、関係機関の所長、部長に要望活動を行って参りました。

▽村内公共施設におけるアスベスト調査について

村内公共施設における吹付けアスベストの使用状況につきまして、八月上旬から八月中旬にかけて村内のすべての公共施設を対象に調査を行いました。

調査の結果、洞爺小学校、洞爺村総合センター及び役場重機車庫において、吹付けアスベストの使用を確認しました。

たので、除去及び封じ込めなど所要の対策を講ずることにいたしました。

▽平成十七年度主要事業の発注状況について

自治会活動振興備品購入事業、村道大原富丘線道路舗装工事、姉妹町村盟約三十周年記念品購入事業、洞爺小学校改修工事等主要事業の発注状況について、報告しました。

教育長行政報告

▽姉妹町村少年交流事業について

第十二回目を迎えた「ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー」として、財田町から三十二名の小学六年生と引率者三名が七月二十九日来村しました。

二泊の民泊体験や洞爺夏まつりの見学、カヌーやじゃが

芋掘り、サクランボ狩り、パークゴルフ等の体験を通して村内児童や村民との交流を深めることができました。

洞爺村での温かいもてなしと、初めての体験に感激しながら、八月一日に全員元気に離村しました。

来村者数が三十五名と大勢であったにも関わらず、民泊先をはじめとし、地域の方々から多くの支援をいただきました。

なお、洞爺村の児童十四名の財田町訪問は、十月六日から九日となっています。

▽英国青年ボランティアの受入れについて

英国の民間ボランティア機関プロジェクト・トラストより派遣されましたトム・ヒューズさんとカイル・ウィッティントンさんが洞爺村での一年間の活動を終え、村民との別れを惜しみながら八月二日離村しました。

後任の第十五次英国青年ボ

ランティアとして、ライアン・マックエルフォンさんとステファン・ハンナさんが派遣されました。

二人は、九月十三日に来村し、二十日からボランティア活動をする予定です。

専決処分

▽一般会計補正予算

歳入歳出予算それぞれ三、六〇四千円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二、五二五、九一三千円とする。

(第四十四回衆議院議員選挙に伴うものです。)

補正予算

▽一般会計補正予算

歳入歳出予算それぞれ五九七〇五千円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二、五八五、六一八千円とする。

(合併に伴う電算システム・ネットワーク統合整備事

業委託負担金 国民健康保険特別会計繰出金等に伴うものです。)

▽国民健康保険特別会計補正予算

(一般会計からの繰入れに伴うものです。)

▽介護保険特別会計補正予算

(介護保険の完了に伴う額確定に伴うものです。)

条例の制定

▽洞爺村土地開発基金条例等を廃止する条例の制定

(各種基金を洞爺村財政調整基金条例による基金に編入することに伴うものです。)

規約の変更

▽西胆振消防組合を組織する地方公共団体の数の増加及び西胆振消防組合規約の一

部を変更する規約

(西胆振管内五町村と伊達市で合意された規約に改正するものです。)

人事

▽教育委員会委員の任命

(任命期間の満了に伴い、岩原義美氏と桑原敏氏の委員任命に同意しました。)

継続審査

▽平成十六年度洞爺村各会計歳入歳出決算認定

(決算審査特別委員会を設置し継続審査としました。)

一般質問

▽五十嵐篤雄議員

・平成十七年度事業執行状況について

・平成十八年度予算編成につ

いて

・村営住宅、単身者住宅の維持管理・環境整備について

▽高橋利典議員

・景観の保全に関し、条例化を促進するのか、要綱にて実施するのか
(質問、答弁については、今後発行予定の「村議会だより」をご覧ください。)



こんな事業に 取り組んでいます

住民福祉課

「洞爺クリーン作戦」を実施しています

昨年実施しました、村民の皆様とともにごみの減量を推進することとした「環境教育推進事業」の効果を引き継ぎ、今年度は、4月の「市街地一斉清掃」を皮切りに、5月の「彫刻清掃」や9月の小中高生による「クリーン洞爺」などを一体のごみゼロ運動とした「洞爺クリーン作戦」を実施しています。

昨年までの事業と違っている点は、今までのそれぞれの事業をそれぞれの団体のみで実施していたものを、今年度から地域住民、村、ボランティアも関わることとした点です。

この考え方は、「ごみは、みんなが出すもの」だから「みんなで減らそう」という理念を基にしたものです。

今後、冬季には「洞爺クリーンKIDS」（小中学生対象）を募集し、環境学習を実施していくこととしています。その内容は、室蘭の広域廃棄物処理施設におけるごみ処理やリサイクルについての学習や、千歳の廃棄物の再生施設見学などを予定しています。

一人でも多くの小中学生の皆さんが、「洞爺クリーンKIDS」に登録し、ごみ減量に対する意識を高めましょう。



村より「cleanとうや」の帽子贈呈

クリーン洞爺で看板作り

香川小学校児童会

九月二日午後一時十五分から村内清掃のボランティア活動を通して、地域への関心を深め、郷土を愛する心を身につけようと「クリーン洞爺」が、村内全校児童生徒が参加して行われました。

今年からは、子どもたちばかりでなく、大人もいっしょに清掃に参加するなど、ボランティア活動の輪の広がりが見られました。

村では、「cleanとうや」の文字入りの帽子を、子どもたちのほか、大人のボランティアの分も用意し、一体となってクリーンな地域づくりを展開しています。

また、香川小学校では、夏休み前からきれいな香川を守ろうと看板作りに取り組み、当日地域の六箇所に、香川地区の中学生といっしょに看板を設置しました。



クリーン洞爺で湖畔周辺のゴミを拾う



香川の児童生徒が自作看板で「きれいなかがわ」を呼びかけ

衆議院議員選挙

洞爺村投票率八一・五一％ 前回は二・四〇％上回る

第四十四回衆議院議員選挙及び第二十回最高裁判所裁判官国民審査の投票が、九月十一日行われました。

村内では、5箇所の投票所で、午前七時から一斉に投票開始となり、第一投票所の総

合センターでは午後六時まで他の四箇所の投票所では午後五時まで投票が行われました。洞爺村の有権者数は一五三六三人で、投票者数は一二七四人で、投票率は八一・五一％でした。

開票は、午後八時から総合センターで行われ、結果は次のおりとなりました（得票数順）。

なお、最高裁判所裁判官国民審査は、全員が信任されておき、結果は省略します。



衆議院議員選挙での開票作業

投票状況

区 分	小 選 挙 区	比 例 代 表
選挙当日の有権者数	1,563人	1,563人
投票者数	1,274人	1,274人
投票率	81.51%	81.51%
前回投票率	79.11%	79.11%

小選挙区（第9区）候補者別得票数

氏 名	党 派	得 票 数	得 票 率 (%)
岩 倉 博 文	自由民主党	621	49.36
鳩 山 由 紀 夫	民 主 党	577	45.87
佐 藤 昭 子	日本共産党	60	4.77
計		1,258	100.00

比例代表（北海道ブロック）党派別得票数

政 党 名	得 票 数	得 票 率 (%)
民 主 党	429	34.43
自 由 民 主 党	397	31.86
公 明 党	234	18.78
新 党 大 地	88	7.06
日 本 共 産 党	59	4.74
社 会 民 主 党	39	3.13
計	1,246	100.00

ようこそ洞爺村へ

第15次 英国ボランティア青年

第十五次英国ボランティア青年として、ライアン・マックエルフォンさんとステファン・ハンナさんが九月十三日来村し二十一日より活動をはじめていきます。

二人は、一年間のボランティア活動期間中、村内の各学校、保育所などでの活動をはじめとし、英会話教室の先生地域の各種イベントなどに参加し村民との交流を深めることにしています。
二人のプロフィールを紹介します。

プロフィール



Stephen
Hanna

ステファン・ハンナ

1987年8月18日

スコットランド

サッカー・バスケット
ボール・パソコン

ラーメン・刺身・エビ



Ryan
McElhone

ライアン・マックエルフォン

1986年9月24日

北アイルランド

水泳・バドミントン・
読書（特にマンガ）

ラーメン・アサヒビール

氏名

生年月日

出身地

趣味・特技

好きな日本の
食べ物・飲み物

英国ボランティア青年 歓迎レセプション開催

九月二十日、午後七時よりいきがい交流センターで、第十五次英国ボランティア青年として、九月十三日来村したライアン・マックエルフォンさんとステファン・ハンナさんの歓迎レセプションが、洞爺村国際交流協会の主催で、四十八名の方々が出席して行われました。

二人は共に日本の歴史、文



歓迎レセプションで花束を受け取る英国青年

化に興味があり、ライアンさんは、大学でも日本語を勉強したいと希望しており、ステファンさんは、高校で柔道をしており日本でも習いたいということでした。

二人はあいさつでも、「これからは日本語しか使いません。」「二年後には日本語ペラペラになります。」などとユーモアたっぷりに話し、会場の笑いを誘っていました。

また、「英語もしっかり教えたい」と述べていました。皆さんも、彼らに出会ったときには、気軽に声をかけてあげたり、英会話教室に参加してみても、いかがですか。

みんなでハッスル！

洞爺保育所運動会

九月十日、台風も去り真夏のような暑さの中、洞爺保育所の運動会が行われました。たくさんの父母、祖父母の皆さんの声援の中、お遊戯や各種競技を一生懸命がんばっ

ていました。また、親子競技や父母、祖父母の競技など色々な種目が行われ、おとも子どもたちと一緒に頑張って心地よい汗を流していました。



よーい どん



力の限り綱を引く



合図がなるまで玉を放る

情報交換し交流深める

市民農園収穫祭

九月十七日、午前十一時より、洞爺村市民農園収穫祭が行われました。

直前の雨により野外広場から倉庫内に移動した会場には、農園で野菜づくり等を楽しむ方々をはじめ、関係者など四

十数名が集まりました。

伊達市の白木さんから「スツップの皆さんの指導よろしく今年も収穫ができました。

来年も皆さん農園で楽しみましょう。」とのあいさつをいただき、いっしょに乾杯しまし

た。

その後、野菜や肉でのバーベキューを楽しむながら、今年の収穫や来年度に向けての情報交換したり、ビンゴゲームで収穫した野菜などの景品を当てるなど、楽しく交流を深めました。



収穫祭で参加者の皆さんが「乾杯」

とれたて野菜を格安で販売

とれたて市

九月十七日(土)、洞爺村農業研修センターにおいて、とれたて市が開催され、とれたて市に参加する農家の出品したじゃがいも、キャベツ、かぼちゃ、ニンジンなど新鮮野菜が格安で販売され、チラシ

などで催しを知った村内外からのお客さんやドライバーの皆さんが大勢訪れていました。特に、ニンジンのビニール袋への詰め放題が五十円など、格安で新鮮な野菜を次々と買い求めています。

また、箱詰めのじゃがいもが積み上げられたそばには、郵送の受付場所も設置され、親戚や知人などに送る手続きをしたり、じゃがいも十kg箱をいくつも車のトランクいっぱい積み込むお客さんも見られ、終日にぎわっていました。



「とれたて市」を訪れた大勢の人たち

洞爺湖畔をウォーキング

北海道ツーデーマーチ

秋の洞爺湖周辺や胆振西部の景勝地を巡って歩く「第十八回北海道ツーデーマーチ」(日本ウォーキング協会、虻田町など主催)が、有珠山噴火復興五周年記念と銘打ち、九月十七、十八日の両日、道内外から多くの愛好者が参加して行われました。

九月十七日には、四コースに千三百二十人が参加、洞爺湖ぐるっと一周コース(壮瞥經由三十六km)と洞爺村グル



ツーデーマーチ参加者にお茶などを振舞う

メコース（月浦經由十三km）

の参加者は、昼頃に次々と洞爺村を通過したり、目的地に到着し洞爺湖和牛のバーベキューを堪能していました。

あいにくの雨が、途中から降り、傘をさして歩く姿も多々みられましたが、棧橋前に設置したテントでは、洞爺村のボランティアの皆さんが、参加者にお茶や豚汁などを振る舞い、暖かくもてなしていました。



洞爺村グルメコースのツーデーマーチ参加者

野菜配り安全運転訴え

成香小学校児童

秋の全国交通安全運動初日の九月二十一日午前十一時から約一時間、成香小学校の児童十二名が、地域や村の協力を得て、学校前の国道230号を走行するドライバークラスに、交通安全を呼びかけました。学校農園で育てたじゃがいも、ピーマン、枝豆、キュウ

リ、トマトなどを袋に詰め、メッセージカードを添えて、洞爺駐在所長の玉手さんの誘導で停止してくれたドライバークラスに手渡し、安全運転をお願いしました。

ドライバークラスは、子どもたちからの暖かい心のこもったプレゼントに笑顔がこぼれていました。

なお、後日函館に住む方から、児童たちにはがきが届き、「枝豆は二十一日夜にさつそくゆで、ちょうだい致しました。実がきちんと熟してとてもおいしゅうございました。皆さんのいらした所を通過する時きつと皆様の笑顔を思い出すことと思います。ありがとうございました。」とお礼の言葉が書かれており、どの子どもも驚きと喜びの顔でいっぱいだったということです。



成香小学校児童による交通安全運動

子ども神輿 各地域を回る

洞爺八幡神社の祭典が九月十五日行われました。

市街地と神社境内で曙獅子舞が奉納され、子ども神輿も市街地を練り歩き、「ワッショイ、ワッショイ」と元気な掛け声をあげ、神輿を担ぎ、祭りを盛り上げました。夜には、前日雨天のため延

期となった、宵宮祭りが神社境内で行われ、訪れた皆さんは、ビンゴゲームや餅まきなどを楽しみました。

また、十九日には、祭典当日に神輿ができなかった五基の子ども神輿が繰り出し、各町内を中心に練り歩きました。



子どもみこしが各家庭を回る

ソウベツ川で さかなウオッチング

九月二十四日(土) 午後一時より、洞爺村財田自然体験ハウスで、財田キャンプ場を利用する家族連れや村内児童二十名ほどが参加し、「ソウベツ川でさかなウオッチング」が行われました。

毎年、九月中旬から十月上旬にかけて、サクラマスがソウベツ川を上ることから、水中カメラで、川の中の様子を



川の中に入ってスタッフの話を聞く

知ろうとするものでした。

同自然体験ハウスから歩いて、魚道のある川岸まで来ると、サクラマスを見つけた子どもたちは「あつ、いた」「ここにもいる」と歓声を上げ、スタッフが水中カメラを川に入れると、サクラマスが泳ぐ様子がモニターに写り、子どもたちは興味深くのぞきこんでいました。

背びれがなくなったり、背中にキズがついたサクラマスも産卵のために、幅の狭い水の少ない所まで懸命に上ろうとしているとの説明を受けながら、貴重な体験を楽しんでいました。



水中カメラの映像をモニターで確かめる

キックベースボールで交流

胆振地域子ども会スポーツ大会

九月二十五日、第二十四回室蘭民報社旗第三十三回胆振地域子ども会スポーツ大会(室蘭民報社、胆振地域子ども会育成連絡協議会主催)が洞爺小学校、洞爺中学校グラウンドを会場に開かれました。

大会は、子どもたちが仲間意識を深め、健康で明るい地域づくりを貢献することを目的として、各市町村持ち回りで実施しており、管内全域から小学生の部に十チーム、中学生の部に七チームが参加しました。



キックベースボールで交流する子どもたち

勝リーグ進出はなりませんでしたが、青空の下とともに元気いっぱいプレーを展開しました。

なお、優勝は、伊達市(小学生の部)、白老町(中学生の部)でした。

誕生

おめでとございます

山田 莉奈ちゃん

父 和人さん
母 祐子さん

8月28日生まれ 長女
3町内

おくやみ

申し上げます

石川 イチさん

9月10日死去 84歳
岩屋